

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 奥村組  
 コード番号 1833 URL <http://www.okumuragumi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村 太加典  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部長 (氏名) 田中 敦史  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東大

TEL 06-6621-1101

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	34,905	—	△235	—	778	—	△3,102	—
20年3月期第1四半期	45,067	13.4	△3,719	—	△2,984	—	△1,024	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△15.51	—
20年3月期第1四半期	△5.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	357,775	127,054	127,054	127,054	35.5	635.25
20年3月期	332,711	128,819	128,819	128,819	38.7	644.04

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 127,054百万円 20年3月期 128,819百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	9.00	9.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	87,070	—	△1,770	—	△710	—	△5,020	—	△25.10
通期	242,860	△4.4	590	—	2,130	—	850	—	4.25

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 228,326,133株 20年3月期 228,326,133株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 28,320,769株 20年3月期 28,308,113株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 200,011,876株 20年3月期第1四半期 200,144,761株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの売上高は、通常の営業形態として工事の完成引渡しが多くなる下半期に、特に第4四半期連結会計期間に偏ることから、通期の業績予想に対し第1四半期連結会計期間の売上高の割合が低くなるといった季節的変動があります。

当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高が34,905百万円と前年同期間に比べ22.5%減少しましたが、工事採算の良い大型案件が完成したこと等により売上総利益率が大幅に好転し営業損失は235百万円にとどまり、更に営業外収支の黒字幅が拡大したことから、経常利益は778百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間においては、平成20年2月26日開催の取締役会で決議した早期退職者の募集を実施した結果、これに伴う特別加算額等4,169百万円を特別損失に計上したこと等により、当社グループの四半期純損失は3,102百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

(建設事業)

受注面では、建築部門が22,464百万円と前年同期間に比べ6.8%減少しましたが、土木部門が35,704百万円と同498.8%増加し、両部門の合計は同93.4%増加した58,168百万円となりました。損益面では、完成工事高は31,748百万円と前年同期間に比べ27.6%減少しましたが、工事採算の良い大型案件が完成したこと等により売上総利益率が大幅に好転し営業損失は810百万円にとどまりました。

(不動産事業)

不動産事業については、不動産の販売及び賃貸に関する事業で、売上高は2,301百万円と前年同期間に比べ173.0%増加し、営業利益は612百万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業については、建設資機材等の製造及び販売に関する事業等で、売上高は855百万円と前年同期間に比べ125.3%増加し、営業損失は10百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ受取手形・完成工事未収入金等が29,661百万円減少しましたが、現金及び預金、有価証券、未成工事支出金が増加したこと等により、資産合計は同25,064百万円増加した357,775百万円となりました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ支払手形・工事未払金等が3,592百万円減少しましたが、未成工事受入金、早期退職者に対する特別加算額等の未払金(流動負債のその他)が増加したこと等により、負債合計は同26,829百万円増加した230,721百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1,765百万円減少した127,054百万円となり、自己資本比率は35.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、財務活動により1,180百万円減少しましたが、営業活動により26,000百万円、投資活動により3,947百万円それぞれ増加したため、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ28,810百万円増加し50,255百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間中の各キャッシュ・フローは次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、未成工事支出金が増加しましたが、売上債権が

29,661百万円減少し、未成工事受入金が19,311百万円増加したこと等により、26,000百万円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券及び投資有価証券の売却等により3,516百万円の収入があったこと等により、3,947百万円の資金増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金を1,520百万円支払ったこと等により、1,180百万円の資金減少となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同期間に比べ、売上高は減少したものの、利益は大幅に改善している状況にあり、ほぼ当初の計画通りに推移していることから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、現時点では平成20年5月15日の公表値と変更はありません。

しかしながら、原油価格の高騰をはじめとする要因の影響を受け、国内の景気の減速懸念が広まる一方、建設業界においては、建設投資が低調に推移する中で、資材価格の上昇が続くなど、引き続き厳しい経営環境に置かれていることから、今後の情報収集等により、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示することとします。

なお、受注高につきましては、前年同期間に比べ93.4%と大幅に増加し、当初の計画を上回っていることから、通期の受注見込みを192,000百万円から200,000百万円に見直しています。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

#### ②リース取引に関する会計基準の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第13号 平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日改正)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しています。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

これによる損益に与える影響は軽微です。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しています。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,264	10,668
受取手形・完成工事未収入金等	56,336	85,998
有価証券	25,800	14,803
販売用不動産	1,545	1,572
未成工事支出金	124,454	102,591
不動産事業支出金	11,181	11,382
仕掛品	1,281	826
材料貯蔵品	149	143
その他	19,314	16,915
貸倒引当金	△3,849	△4,633
流動資産合計	264,479	240,268
固定資産		
有形固定資産	23,292	23,217
無形固定資産	808	853
投資その他の資産		
投資有価証券	64,280	63,325
その他	5,093	5,207
貸倒引当金	△178	△161
投資その他の資産合計	69,194	68,371
固定資産合計	93,296	92,442
資産合計	357,775	332,711
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	83,321	86,914
短期借入金	11,462	10,995
未払法人税等	96	147
未成工事受入金	87,483	68,171
引当金	1,107	1,797
工事損失引当金	5,903	6,904
その他	20,014	9,506
流動負債合計	209,390	184,438
固定負債		
長期借入金	312	404
退職給付引当金	5,451	5,525
負ののれん	1,346	1,417
その他	14,220	12,105
固定負債合計	21,330	19,452
負債合計	230,721	203,891

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,838	19,838
資本剰余金	25,329	25,329
利益剰余金	73,650	78,553
自己株式	△12,267	△12,260
株主資本合計	106,551	111,460
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,502	17,359
評価・換算差額等合計	20,502	17,359
純資産合計	127,054	128,819
負債純資産合計	357,775	332,711

(2) 四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	34,905
売上原価	30,028
売上総利益	4,877
販売費及び一般管理費	5,112
営業損失(△)	△235
営業外収益	
受取利息	84
受取配当金	760
負ののれん償却額	70
その他	144
営業外収益合計	1,059
営業外費用	
支払利息	40
その他	5
営業外費用合計	46
経常利益	778
特別利益	
前期損益修正益	169
固定資産売却益	350
投資有価証券売却益	0
貸倒引当金戻入額	757
特別利益合計	1,278
特別損失	
前期損益修正損	3
固定資産売却損	4
固定資産除却損	77
投資有価証券売却損	500
投資有価証券評価損	244
退職特別加算金	4,169
特別損失合計	5,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,943
法人税、住民税及び事業税	66
法人税等調整額	93
法人税等合計	159
四半期純損失(△)	△3,102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△2,943
減価償却費	225
負ののれん償却額	△70
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△767
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△73
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,001
受取利息及び受取配当金	△844
支払利息	40
固定資産売却損益 (△は益)	△345
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	499
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	244
退職特別加算金	4,169
売上債権の増減額 (△は増加)	29,661
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△21,863
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△256
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,075
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	19,311
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△1,406
その他	4,898
小計	25,402
利息及び配当金の受取額	847
利息の支払額	△40
法人税等の支払額	△209
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	215
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△56
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	3,516
有形及び無形固定資産の取得による支出	△154
有形及び無形固定資産の売却による収入	362
貸付けによる支出	△55
貸付金の回収による収入	41
その他	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,947

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	428
長期借入金の返済による支出	△82
自己株式の取得による支出	△7
自己株式の売却による収入	1
配当金の支払額	△1,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,810
現金及び現金同等物の期首残高	21,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,255



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	建設事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	31,748	2,301	855	34,905	—	34,905
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	645	18	18	681	(681)	—
計	32,393	2,319	873	35,587	(681)	34,905
営業利益又は営業損失(△)	△810	612	△10	△208	(26)	△235

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業の内容

(1) 事業区分の方法

日本標準産業分類を勘案して区分した。

(2) 各区分に属する主要な事業の内容

建設事業 : 土木・建築その他建設工事全般に関する事業

不動産事業 : 不動産の販売及び賃貸に関する事業

その他の事業 : 建設資機材等の製造及び販売に関する事業 他

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高がないため、記載していません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前第1四半期にかかる財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高		
完成工事高	43,845	
その他事業売上高	1,222	
売上高合計	45,067	100
II 売上原価		
完成工事原価	42,428	
その他事業売上原価	581	
売上原価合計	43,010	95.4
売上総利益		
完成工事総利益	1,416	
その他事業総利益	641	
売上総利益合計	2,057	4.6
III 販売費及び一般管理費	5,776	12.9
営業損失	3,719	△ 8.3
IV 営業外収益		
受取利息	97	
受取配当金	573	
為替差益	93	
その他	27	
営業外収益合計	791	1.8
V 営業外費用		
支払利息	57	
その他	0	
営業外費用合計	57	0.1
経常損失	2,984	△ 6.6
VI 特別利益		
前期損益修正益	95	
固定資産売却益	0	
貸倒引当金戻入益	866	
投資有価証券売却益	16	
特別利益合計	978	2.2
VII 特別損失		
前期損益修正損	4	
固定資産売却損	0	
固定資産除却損	17	
投資有価証券評価損	59	
特別損失合計	81	0.2
税金等調整前四半期純損失	2,088	△ 4.6
税金費用	△ 1,016	△ 2.2
少数株主損失	47	0.1
四半期純損失	1,024	△ 2.3